



《桂離宮 水屋附近石組 (松琴亭)》1953-54年 ゼラチンシルバープリント 高知県立美術館蔵

石元泰博写真展 — 桂離宮 1953, 1954 —

K a t s u r a I m p e r i a l V i l l a

写真家・石元泰博による《桂離宮》シリーズ(1953年, 1954年)を、坂倉準三設計の神奈川県立近代美術館 鎌倉(1951年)を会場として展観。1950年代初頭の日本のモダニズムの真骨頂を再確認します。

神奈川県立近代美術館 鎌倉 2012年4月7日(土)-6月10日(日)

※会期中に展示替えがあります。

前期: 4月7日(土) — 5月13日(日)
後期: 5月15日(火) — 6月10日(日)

休館日: 月曜日(ただし4月30日は開館)
開館時間: 午前9時30分-午後5時
(入館は午後4時30分まで)

観覧料: 一般 700円(団体600円)、20歳未満・学生 550円
(団体450円)、65歳以上 350円、高校生 100円
※()内は20名以上の団体料金です。
※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
※ファミリー・コミュニケーションの日: 毎月第1日曜日
(今回は5月6日、6月3日は、18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催: 神奈川県立近代美術館
特別協力: 高知県立美術館

お問合せ先: 神奈川県立近代美術館 鎌倉 tel.0467-22-5000 fax.0467-23-2464 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53
広報担当: 長島、山内 展覧会担当: 是枝

プレスリリース、及び展覧会情報は美術館ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

■無料開館日

5月18日[金]「国際博物館の日」: この日は神奈川県立近代美術館で開催中の3つの展覧会を無料でご観覧いただけます。

■ゲスト・トーク 「石元泰博一写真という思考」

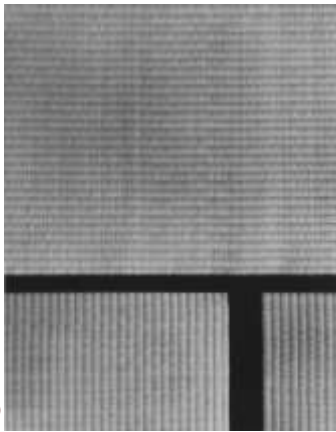
講師: 森山明子氏(武蔵野美術大学教授)
日時: 4月21日[土] 午後2時-3時30分
会場: 神奈川県立近代美術館 鎌倉 展示室
*申込不要、無料

(ただし「石元泰博写真展」の観覧券が必要です)

■学芸員によるギャラリートーク

日時: 5月12日[土]、5月26日[土] 各回午後2時-3時
*申込不要、無料

(ただし「石元泰博写真展」の観覧券が必要です)



日本写真史に名を刻む偉大な写真家、石元泰博（1921-2012）は、サンフランシスコに生まれ、幼少時に父の故郷である高知県に帰郷しますが、1939年に再び渡米し、バウハウスの教育理念を継承したシカゴ・インスティテュート・オブ・デザイン（通称、ニュー・バウハウス）で写真の教育を受けました。1953年頃からは日米を行き来し、戦後日本の写真界に多大な影響を与え、1969年以降は日本を拠点に精力的な活動を展開しました。

本展では、展示空間となる鎌倉館が坂倉準三（1901-1969）によって建てられたのが1951年であることと共鳴すべく、石元の膨大な作品群の中から1953、1954年に制作された《桂離宮》のシリーズに焦点を絞って展示いたします。戦後間もない1950年代初頭という時点で、日本のモダニズムが到達していた高いレベルを再確認いただける貴重な機会となるでしょう。

大胆かつ緻密な構図によって捉えられたその作品群は、桂離宮の見方を決定づけたとも言われています。ニュー・バウハウスで鍛えられた、モダニズムの真髄ともいえる精神は、半世紀を超えて今なお卓越した視点として煌きを放っています。桂離宮という伝統的な日本建築の美しさと写真というメディアの融合、そして石元の根源的で堅牢な造形感覚を余すところなくご堪能いただける展覧会です。

①

③

①
《桂離宮》1953-54年
ゼラチンシルバープリント
高知県立美術館蔵

②
《桂離宮 畳》1953-54年
ゼラチンシルバープリント
高知県立美術館蔵

③
《桂離宮 中門の石組》1953-54年
ゼラチンシルバープリント
高知県立美術館蔵



④

⑤

④
《桂離宮 松葉型襖引手（楽器の間）》1953-54年
ゼラチンシルバープリント
高知県立美術館蔵

⑤
《桂離宮 化粧屋根裏（月波楼）》1953-54年
ゼラチンシルバープリント
高知県立美術館蔵

⑥
《桂離宮 天の橋立の石橋》1953-54年
ゼラチンシルバープリント
高知県立美術館蔵



⑥